

まち・ひと・しごと創生
越谷市総合戦略

～愛着と誇りをもてるまち「こしがや」を目指して～

進捗状況報告書
【令和2年度】

令和3年11月
越谷市

目 次

1	総合戦略進捗状況報告について	1
2	総合戦略の進捗状況	3
	(1) 基本目標1 安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる	3
	(2) 基本目標2 越谷の魅力を全国に発信し、人を呼び込む	6
	(3) 基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	8
	(4) 基本目標4 安全、安心、快適に住める地域をつくる	11
3	総合戦略の総括	14

1 総合戦略進捗状況報告について

(1) 目的

本報告書は、「ひとつの目安として、令和4年(2022)年に約29万7千人の人口を維持することを目指す」としている、「まち・ひと・しごと創生 越谷市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」の実現に向け、各種施策を推進してきた「まち・ひと・しごと創生 越谷市総合戦略(以下「総合戦略」という。)」に対する総合的な評価を行うことを目的としています。

(2) 総合戦略の進行管理

総合戦略では、政策分野ごとの「基本目標」、さらに基本目標ごとに実施すべき施策を「具体的施策」として位置づけ、それぞれの内容に応じた目標値を設定し、これらを目安として進捗率等を管理しています。また、総合戦略で掲げている「今後検討していく施策」については、その検討状況等を記載しています。

① 基本目標

「基本目標」では、4つの基本目標に沿って、6つの数値目標を掲げており、目標値に対する令和2年度の進捗率を記載しています。

② 具体的施策

「具体的施策」では、13の具体的施策に沿って、33の重要業績評価指標(以下「KPI」という。)を掲げ、目標値に対する令和2年度の進捗状況を記載しています。

③ 今後、検討していく施策

「今後、検討していく施策」では、4つの基本目標に沿って掲げている15の施策について、検討・実施状況を記載しています。

(3) 報告書の対象年度

本報告書では、総合戦略の計画期間(平成27(2015)年度～令和2(2020)年度)のうち、令和2年度の実績および計画期間全体の評価を示しています。

(4) 総合戦略の評価

① 評価方法

最終年度（令和2年度）については、「基本目標における数値目標」の達成状況（進捗率）を踏まえ、下表のとおり総合的に評価しています。

また、「基本目標における数値目標」を達成するための具体的施策のKPIについては、令和2年度の「実績値」と「進捗率」を示しています。

なお、新型コロナウイルス感染症(以下「コロナ」という。)の影響を受けた事業については、評価表の「コロナの影響」欄に「●」を表示しています。

達成状況評価	達成状況の考え方
★★★★	目標達成 ----- ≪評価基準≫達成率が100%
★★★	目標は達成できなかったが、事業としては前進 ----- ≪評価基準≫達成率が0.1%以上100%未満
★	目標達成できず、かつ事業も遅れている ----- ≪評価基準≫達成率が0%(ただし、コロナの影響がある場合には、★★としている指標もあります)。

② 目標に対する進捗率の算出方法

計画期間内における各数値目標やKPIの進捗率は、次のとおり算出しています。

【算出式】

$$0\% \leq \left(\frac{(\text{実績値(当該年度)} - \text{基準年度現況値(H26)})}{(\text{目標値(R2)} - \text{基準年度現況値(H26)})} \times 100 \right) \leq 100\%$$

(下限) (上限)

(例) 「特定用途施設の市内設置数」を指標とする事業の場合

基準年度現況値(H26)・・・ 60か所 設置済み	➡	最終年度(R2)現況値・・・60か所
目標値(R2)・・・120か所 設置をめざす		※基準年度からの進捗なし

【算出方法】

$$\text{進捗率} = \frac{60 (\text{現況値(R2)}) - 60 \text{基準年度現況値(H26)}}{120 (\text{目標値(R2)}) - 60 \text{基準年度現況値(H26)}} \times 100 = 0\%$$

☞ H26 から全く設置数が増えない状況のため、進捗率は 0% となる。

2 総合戦略の進捗状況

(1) 基本目標1：安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる

考え方：首都近郊という地理的優位性を活かし、農業・商工業の活性化を図るとともに、新たな雇用を創出し、賑わいと活力のある職住近接のまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナの影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
市内事業所従業者数	11万 6,916	12万	人	11万 3,164 (推定値)	[0]		[★]

【総括評価】

創業支援、経営革新および雇用対策の各種事業に取り組み、市内産業の活性化に努めた。引き続き、市内の新たな雇用創出に向け、各種施策を推進していく。

なお、当該指標は、政府の経済センサス「基礎調査」の結果を基としているが、調査事項の変更に伴い平成29年以降の実態捕捉が不可能となった。そこで、実績値は「推定値」として取り扱うこととした。

【推定値算出方法】直近で公開されている調査データから抽出して独自に算出

$$\left[\begin{array}{l} 110,758 \text{ 人} \\ \text{平成28年市内事業所従業者数} \\ \text{(国・地方公共団体は除く)} \end{array} \right] + \left[\begin{array}{l} 2,406 \text{ 人} \\ \text{平成26年市内事業所従業者数} \\ \text{(国・地方公共団体のみ)} \end{array} \right] = 113,164 \text{ 人}$$

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナの影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
市内総生産額	7,787億 7,600万	8,643億 1,700万	円	8,213億 3,100万	49.7		★★

【総括評価】

「市内事業所従業者数」同様、各種事業に取り組み、市内産業の活性化に努めてきた。市内総生産額については、基準値と比較して425億5,500万円増額したが、目標値に対しては429億8,600万円不足する状況となった。

● 具体的施策の重要業績評価指標（KPI）

《施策①》 地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化を図る

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
経営革新計画の承認件数 (平成23年度からの累計)	28	110	件	124	100	
創業を支援した件数 (平成27年度からの累計)	0	250	件	154	61.6	●
事業者交流イベントの参加団体数 (平成27年度からの累計)	27	250	件	237	94.2	●
市内駅前商店街の歩行者通行量	1万 9,536	2万 1,600	人	2万 7,357人 (令和元年度実績)	100	●

《施策②》 持続的に農業が行われる環境をつくる

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
農産物直売所における 地場農産物の売上高 (平成17年度からの累計)	11億 8,967万	23億	円	27億 8,598万	100	
市内観光農園の来園者数 (平成23年度からの累計)	14万 7,794	62万 7,000	人	62万 8,878	100	●
新規就農希望者(研修者)	0	4	人	4	100	

《施策③》 雇用対策の充実を図る

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
シルバー人材センター就業者数 (平成23年度からの累計)	49万 2,318	130万 1,000	人	128万 9,969	98.6	●
セミナー等受講者数 (平成23年度からの累計)	4,423	1万 642	人	7,705	52.8	●
若年者等就業支援事業におけ る年間延べ相談件数	718	750	件	275	0	●

●今後、検討していく施策

施 策	検 討 ・ 実 施 状 況
道の駅の整備	平成28年度から道の駅基礎調査を開始し、平成29年度には「基本構想」を策定した。その後、導入機能や整備主体など様々な調査研究を進め、候補地を増林地区内と定めた。 【着手】
新たな流通・工業系土地利用	新たな産業団地整備に向け、事業予定区域である荻島地区の権利者等へ合意書取得を目指し交渉を行った。また、既存工業団地の拡張に向け、周辺権利者へのアンケート調査や企業ニーズの把握に努めた。 【着手】
事業者の競争力強化・企業立地に対する支援及び相談体制の強化	「こしがや企業応援プラットフォーム」と連携し、市内企業の経営課題や支援ニーズ等の把握に努めた。プラットフォームに参加する金融機関が16行まで増加し、地域の産業支援機関の連携が広がった。 【着手】

(2) 基本目標2：越谷の魅力为全国に発信し、人を呼び込む

考え方：新たな観光資源の発掘・活用を進め、観光産業の振興を図るとともに、まちの魅力を効果的に発信することで、交流人口の増加を目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
越谷市に対して愛着を感じている市民の割合 (「とても愛着がある」「愛着がある」と思う市民の割合)	0	50.0	%	41.6	83.2	●	★★
【総括評価】							
各種観光イベントの支援や情報発信により、進捗率80%以上を維持してきた。 今後も、コロナ感染拡大防止対策を講じながら、市民が誇れる地域づくりを目指し、各種取組を継続していく。							

●具体的施策の重要業績評価指標 (KPI)

《施策①》にぎわいと活力を創出する観光の振興を図る

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
観光客入込数	5,293万 5,926	5,800万	人	4,273万 5,529	0	●
市内に立地する駅の 1日平均乗降客数の合計	52万 1,650	58万 7,000	人	55万 5,834	52.3	●

《施策②》“こしがや”の情報を積極的に発信する

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
越谷市観光協会 ホームページアクセス数	14万 4,000	18万	件	8万 8,049	0	●
越谷市公式LINE(ライン) アカウントの友だち人数	0	7,000	人	8,427	100	●

●今後、検討していく施策

施 策	検 討 状 況
新たな都市型観光の推進	平成27年度に株式会社JTBと観光振興に関する包括連携協定を締結し、農業体験等モニターツアーや観光資源調査を実施するとともに、レイクタウンの水辺を活用したイベントを実施した。また、越谷産のいちごとランニングイベントを組み合わせた「越谷いちごラン」を継続的に実施している。 【事業化済み】
観光基盤の整備	宿泊施設の誘致を進め、計画期間中に民間ホテルが2施設開業するなど、観光基盤整備を促進した。 【着手】
広域連携における観光施策	平成28年度に「日光街道埼玉六宿連携スタンプラリー事業」を開始したほか、令和元年度からは観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」で東北の被災地等の特産物を取り扱う「東北フェア」を年1回実施している。 また、埼玉県東南部都市連絡調整会議(草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町で構成)において、インバウンド観光を対象とした広域観光ガイドブック「SAITAMA RING ROUTE (埼玉リングルート)」およびガイドブックを紹介する動画を作成し、広域連携による外国人観光客の誘引を図った。 【事業化済み】

(3) 基本目標3:若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

考え方:若い世代の結婚・出産の希望をかなえるために、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援を行い、ずっと住み続けたいまちを目指す

●基本目標における数値目標

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
20歳代、30歳代の女性のうち、住み続けたいと思う市民の割合(市民意向調査「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合)	60.0	65.0	%	69.4	100		★★★

【総括評価】

KPIに関連する子育て支援や学校教育等の施策を展開した。
今後も、20～30歳代の女性を含め、多くの市民に「住み続けたい」と感じてもらえるよう、各施策を推進していく。

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
合計特殊出生率※	1.33	1.50	—	[1.26]	[0]	●	[★]

【総括評価】

コロナ禍における経済不安や出会いの機会の減少などもあり、出生率は減少傾向となっている。
引き続き、合計特殊出生率の向上に向けて、各種子育て支援施策などを推進していく。

※ 合計特殊出生率については、最新値である令和元年度の実績値を掲載している。

● 具体的施策の重要業績評価指標（K P I）

《施策①》 地域で子育てを支援する

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
乳幼児等健診受診率	94.3	95.0	%	93.4	0	●
子育てサロン利用者延べ人数 (平成 23 年度からの累計)	25 万 5,241	57 万 8,600	人	56 万 2,504	95.0	●

《施策②》 子どもを育てやすい環境を整える

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
待機児童数(各年度 4 月 1 日)	29	0	人	1	96.6	
学童保育室施設数	40	49	施設	49	100	

《施策③》 生きる力を育む学校教育を進める

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
将来の夢や目標を持っている 児童の割合 (小学 6 年生)	89.3	95.0	%	87.3 (令和元年度実績)	0	●
将来の夢や目標を持っている 生徒の割合 (中学 3 年生)	72.0	80.0	%	74.7 (令和元年度実績)	33.8	●
エアコン設置整備率	0	100	%	100	100	

《施策④》 仕事と生活の調和を推進する

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
仕事と家庭生活の両立について何 らかの配慮を行っている事業所の 割合 (越谷市労働実態調査) ※	64.7	70.0	%	74.1	100	

※ 指標の基となる「越谷市労働実態調査」は 3 年に 1 回の実施のため、実績値は平成 30 年度調査の数値を掲載している。

●今後、検討していく施策

施 策	検 討 ・ 実 施 状 況
<p>妊娠期から子育て期にわたる までの切れ目のない支援</p>	<p>妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のないサポートが可能となるよう、平成30年度に子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠・出産・育児に関する相談や訪問を行っている。 【事業化済み】</p>
<p>男女の出逢いの場の創出</p>	<p>平成28年度から、埼玉県東南部都市連絡調整会議を構成する5市1町内の住民を対象に、男女の出逢いの場を提供するとともに、当圏域内の住環境・子育て環境の魅力を紹介する「婚活まんまるバスツアー」を開催している。 【事業化済み】</p>
<p>子育て世帯などを対象とした 定住化促進に向けた施策の検討</p>	<p>埼玉県における支援制度の周知を図り、制度の利用促進に努めた。さらに、次世代を担う子育て世帯などの定住化が促進されるよう、本市独自の施策についても引き続き調査・検討を進めていく。</p>

(4) 基本目標4：安全、安心、快適に住める地域をつくる

考え方：だれもが、安全、安心、快適に住める『安心度No.1のこしがや』をつくるため、①効率的で適正な公共施設等の維持管理、②医療・保健・福祉サービスの充実、③防災力・防犯力の強化、などを旨とする

●基本目標における数値目標

数値目標	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響	達成状況 評価
				実績値	進捗率 (%)		
今後も住み続けたいと思う市民の割合 (市民意向調査「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と思う市民の割合)	72.6	75.2	%	75.1	96.2		★★

【総括評価】

目標値には達しなかったものの、最終年度にはそれに近い実績値となり、高い進捗となった。

今後も、多くの市民が「住み続けたい」と感じ、本市に愛着と誇りを持っていただけるよう、各施策を推進していく。

●具体的施策の重要業績評価指標（KPI）

《施策①》公共施設等の適正な管理を図る

KPIの名称	基準値 (平成26年度)	目標値 (令和2年度)	単位	実績(令和2年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
公共施設等総合管理計画の アクションプラン策定率	0	100	%	100	100	
主要な幹線道路の舗装改良率	38.9	49.3	%	51.2	100	
橋りょうの耐震化率	18.1	43.1	%	25.0	27.6	

《施策②》 地域医療体制の充実及び高齢者を地域で支えあう仕組みを整備する

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
夜間急患診療所の認知度 (基準値はH24 年度)	64.3	85.0	%	81.8	84.5	
オレンジカフェ設置数	0	3	か所	11	100	
特別養護老人ホーム整備率	1.23	1.80	%	1.85	100	

《施策③》 防災力・防犯力を強化する

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
備蓄資器材の整備率の平均	80.0	100	%	100	100	
災害情報管理システムと連携したホ ームページへのアクセス件数	0	1 万 2,000	件/年	1,099	9.2	

《施策④》 雨水災害の対策を進める

K P I の名称	基準値 (平成 26 年度)	目標値 (令和 2 年度)	単位	実績(令和 2 年度)		コロナ の影響
				実績値	進捗率 (%)	
公共下水道事業(雨水)整備率	66.4	67.4	%	71.6	100	
ポンプ機器改修率	56.4	76.9	%	69.2	62.4	
ポンプ場改築・更新率	0	18.2	%	18.2	100	

●今後、検討していく施策

施 策	検 討 ・ 実 施 状 況
公共施設のマネジメント	平成27年3月に策定した「越谷市公共施設等総合管理計画 基本方針」における取組を具体化するため、令和元年7月に「越谷市公共施設等総合管理計画 第1次アクションプラン」を策定し、施設の老朽化対策を推進した。 【着手】
新保健センターの整備	令和2年4月に供用開始した。 【事業化済み】
介護人材の確保	介護保険サービス事業者連絡協議会との共催による介護フェスタを2年に1度開催し、介護職として働くことを希望している方と事業所とのマッチングを行っている。また、平成28年1月から介護職員向けの介護相談窓口を開設するとともに、令和2年4月からは介護現場で働く方が相談員となる「ピアサポート方式」も採用している。 【事業化済み】
空き家の適正管理及び活用	法令による指導等に努めるとともに、平成31年3月に策定した「越谷市空家等対策計画」に基づき、適正管理の促進、発生の予防・抑制、活用・流通の促進を3つの基本的な方針として、空き家等対策に関する施策に取り組んでいる。 【事業化済み】
地域公共交通網の充実	「越谷市地域公共交通網形成計画」に基づき、令和元年度に新方地区内公共交通導入検討協議会が設立され、新たな公共交通の運行形態、乗降施設および運行体制などの協議・検討を進めた。 【着手】
更なる治水対策の推進	河川や水路、排水ポンプの整備等、総合的な治水対策により浸水被害の軽減に取り組むとともに、浸水被害を軽減するため、雨水を一時的に貯留する調整池の整備を検討した。 【着手】
道の駅の整備(再掲)	平成28年度から道の駅基礎調査を開始し、平成29年度には「基本構想」を策定した。その後、導入機能や整備主体など様々な調査研究を進め、候補地を増林地区内と定めた。 【事業化済み】

3 総合戦略の総括

平成26年に、将来の人口減少問題の克服と東京圏の一極集中の是正（地方創生）を目的とした「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。

本市においても、人口減少に歯止めをかけるとともに、将来にわたって活力ある地域社会を維持するため、この法律に基づき、平成28年に「まち・ひと・しごと創生 越谷市総合戦略」（以下「総合戦略」）を策定しました。

「総合戦略」で掲げた4つの基本目標の実現に向け、「具体的施策の重要業績評価指標（KPI）」を設定し、これを基に様々な取組を推し進めたことにより、数値目標の達成、あるいは、事業を前進することができました。

さらに、計画策定時にはKPIとして設定できない施策についても、「今後検討していく施策」として掲げ、事業化・具現化に向けて取り組んできました。

「総合戦略」は、当初、「令和元年度まで」の計画期間としていましたが、「令和2年度まで」1年延長した経過があります。これには、令和3年度からスタートする、まちづくりの新たな指針である「第5次総合振興計画（前期基本計画）」に「新たな総合戦略（第2期総合戦略）」を取り込み、一体的、総合的に施策を推し進めていこうとする意図がありました。

「既に2008年をピークに減少しているとされる日本の人口は、新型コロナウイルスの拡大の影響により、今後、減少が加速度的に進む」、あるいは、「テレワークなどの普及により、図らずも東京圏の一極集中が是正される」との見方もあります。

一方、本市に目を転じると、令和4年度をピークに人口減少に転じることが予想されますが、所期の目的である人口減少問題の克服と地域の活性化のために、引き続き、様々な施策・取組を展開し、総合戦略で掲げた「愛着と誇りを持てるまち「こしがや」」を目指してまいります。

